

閣下

昭和十五年一月三十日

昭和十五年一月三十日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

陸軍大臣

文部大臣

逓信大臣

厚生大臣

内務大臣

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

大藏大臣

司法大臣

商工大臣

拓務大臣

別紙内閣總理大臣及大藏逓信拓務三大臣請議海運統制令制定ノ件

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通

法制局

閣議決定セラレ可然ト認ム

勅令案

朕海運統制令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

御名 御璽

昭和十五年 一月三十一日

内閣總理大臣

大藏大臣

遞信大臣

拓務大臣

呈案附箋ノ通

法制局第二〇號

昭和十五年一月廿七日

企畫院上申第五號

閣議請議

海運統制令制定ノ件

支那事變ノ推移竝ニ歐洲ニ於ケル新情勢ノ展開ニ即應シテ船舶ノ製造、船舶ニ依ル運輸竝ニ船舶ノ價格等ニ就キ統制ヲ強化スル爲國家總動員法第八條及第十九條ノ規定ニ基ク勅令ヲ制定スルノ要アリ仍テ別紙勅令案ヲ提出ス

右閣議ヲ請フ

昭和十五年一月二十七日

内閣總理大臣 米内光政



内閣總理大臣

大藏大臣 櫻内 幸雄



逓信大臣 勝 正憲



拓務大臣 小磯 國昭



内閣總理大臣 米内 光政 殿

内閣總理大臣

海運統制令

、及使用する命令並ニ同法第十九條ノ規定ニ基ク船舶ノ價

格、水上ノ運送賃及船舶ノ賃貸料（期間傭船料ヲ含ム以下同シ）

ニ關スル命令、ハ價格等統制令

(第七條ヲ除ク)、

二依ル、
ノ外本台ノ
ル所ニ依ル

第二條 船舶ノ製造ヲ爲サントスル者及船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ製造ニ付遞信大

海運統制令

第八條ノ規定ニ基ク船舶ノ製造、修繕、

(期間傭船料ヲ含ム以下同シ)

八、價格等統制令

• • • • •

ル所ニ依ル

該船舶ノ製造ニ付通信大

内閣

勅令第三十八號

海運統制令

於テ依ル場合ヲ含ム以下同シ

第八條

ノ規定ニ基ク船舶ノ製造、修繕、

及、使用ニ關スル命令並ニ同法第十九條ノ規定ニ基ク船舶ノ價

格、水上ノ運送賃及船舶ノ賃賃料（期間傭船料ヲ含ム以下同シ）

、及、使用ニ關スル命令、ハ價格等統制令

（第七條ヲ除ク）、

、及、ニ依ル、ハ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 船舶ノ製造ヲ爲サントスル船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サ

ントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ製造ニ付運信大

臣ノ許可ヲ受クベシ

第三條 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得但シ工場事業場管理令第六條ノ規定ニ依ル指揮監督ヲ妨ゲズ

第四條 遞信大臣ハ、船舶所有者又ハ運輸業者ニ對シ船舶ノ貸借（期間備船ヲ含ム）以下、（同ジ）又ハ船舶ノ運輸ノ委託ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ貨貨料、**運輸手**其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第五條 帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ日本船舶（外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）ニ非ザル船舶ヲ借受ケ（期間備船

日本標準規格B4列

ヲ含ム）又ハ其ノ運輸、委託ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第六條 遞信大臣ハ**航路若ハ區域ヲ指定若ハ一般的**船舶

、ヲ指定シテ航海ヲ禁止シ若ハ制限シ又ハ人若ハ物ヲ指定

シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限スルコトヲ得但シ他ノ法令ニ基キテ爲サルル別段

第七條 遞信大臣ハ船舶荷役、圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷役請負業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品、船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ順位、變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 價格等統制令第六條ニ規定スル場合ヲ除ク、外遞信大臣、船舶、價格、水上、運送賃又ハ船舶、賃

臣ノ許可ヲ受クベシ

第三條 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得但シ工場事業場管理令第六條ノ規定ニ依ル指揮監督ヲ妨ゲズ

第四條 遞信大臣ハ、船舶所有者又ハ運輸業者ニ對シ船舶ノ貸借（期間備船ヲ含ム）以下、同ジ）又ハ船舶ノ運航ノ委託ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ賃貸料航手數料其ノ他ノ學項ニ關シ當業者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第五條 帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ日本船舶（外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）ニ非ザル船舶ヲ借受ケ（期間備船

ヲ含ム）又ハ其ノ運輸、委託ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第六條 遞信大臣ハ路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶、

人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限スルコトヲ得但シ他ノ法令ノ規定ノ處分

第七條 遞信大臣ハ船舶荷役、圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルト

キハ運送取扱業者、荷役請負業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品、船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ順位、變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 價格等統制令第六條ニ規定スル場合ヲ除ク、外遞信大臣船舶、價格、水上、運送賃又ハ船舶、賃

臣ノ許可ヲ受クベシ

第三條 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得但シ工場事業場管理令第六條ノ規定ニ依ル指揮監督ヲ妨ゲズ

第四條 遞信大臣ハ、船舶所有者又ハ運輸業者ニ對シ船舶ノ貸借（期間傭船ヲ含ム）以下、（同ジ）又ハ船舶ノ運輸ノ委託ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ買貨料航手數料其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第五條 帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ日本船舶（外地ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）ニ非ザル船舶ヲ借受ケ（期間傭船

ヲ含ム）又ハ其ノ運輸、委託ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第六條 遞信大臣ハ路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶、人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限スルコトヲ得效力ヲ妨ゲズ

第七條 遞信大臣ハ船舶荷役、圓滑ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷役請負業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品、船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ順位、變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第八條 價格等統制令第六條ニ規定スル場合ヲ除ク、外遞信大臣、船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃

賃料、
乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ
又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ支拂者又ハ
受領者ニ於テ逓信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各
號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ
一 船舶ノ製造價格ニ付造船者ガ製造ニ着手シタルモノ
二 船舶ノ賣買價格ニ付買主ガ船舶ノ引渡ヲ受ケタルモノ
三 水上ノ運送貨ニ付運送人ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
四 船舶ノ所有權ニ付賃借人ガ履行遲滞ニ在ルモノ
第九條 運航業者、
又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準

ズルモノニシテ逓信大臣ノ指定スルモノ船舶ノ價格、水上ノ運送
賃又ハ船舶、
又ハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員（構成員ガ組
合其ノ他之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、第二
項ノ場合亦同ジ）ニ對シテハ其ノ額ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ指定
セラレタル額ト看做ス
逓信大臣必要アリト認ムルトモ、
規定スル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員
タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ對シテモ前
項ノ規定ニ依ル額ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ指定セラレタル額ト
爲、スコトヲ得

貨料、
乃至第四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ
又ハ受領スルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ支拂者又ハ
受領者ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ指定ハ指定實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際左ノ各
號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ
一 船舶ノ製造價格ニ付造船者ガ製造ニ着手シタルモノ
二 船舶ノ賣買價格ニ付買主ガ船舶ノ引渡ヲ受ケタルモノ
三 水上ノ運送貨ニ付運送人ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
四 船舶ノ賃賃料ニ付賃借人ガ履行遲滯ニ在ルモノ
運航業者、
又ハ造船業者ノ組合其ノ他之ニ準

船舶ノ賃賃料ノ額、

ズルモノニシテ遞信大臣ノ指定スルモノ船舶ノ價格、水上ノ運送
ホハ其ノ組合其ノ他之ニ準ズルモノ及具ノ構成員一構成員ガ組
合其ノ他之ニ準ズルモノナル場合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、第二
項ノ場合亦同ジニ對シテハ其ノ額ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ指定
セラレタル額ト看做ス
遞信大臣必要アリト認ムルトホハ、
規定スル組合其ノ他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構成員
タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ニ非ザルモノニ對シテモ前
項ノ規定ニ依ル額ヲ以テ前條ノ規定ニ依リ指定セラレタル額ト
爲、スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ變更アリタルトキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノトス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際前條第二項各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第十條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更ハ價格等統制令第六條ニ規定スル他ノ法令ニ依ルモノ及他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除クニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ船舶ノ價格、水ト運送費又ハ船舶ノ賃賃料ノ額ノ引上ト看做ス

日本標準規格B4列

第十一條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第八條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條 第八條乃至前條ノ規定ハ左ニ掲グルモノニハ之ヲ適用セズ

一、營利ヲ目的トシテ、契約ヲ爲スニ非ザル契約當シ當該契約ヲ爲スコトガ、業務ニ非ザル場合ニ限ル

二、關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル船舶ノ輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル水上運送ノ運送賃（逓信大臣ノ告示スルモノヲ除ク）

前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ變更アリタルトキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラレタルモノトス

第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ存スル契約ニシテ其ノ際前條第二項各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコトナシ

第十條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更ハ價格等統制令第六條ニ規定スル他ノ法令ニ依ルモノ及他ノ法令ニ基ク行政官廳ノ決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリタルモノヲ除クニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ船舶ノ價格、水ト運送費又ハ船舶ノ賃賃料ノ額ノ引上ト看做ス

第十一條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第八條ノ規定ニ依ル禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條 第八條乃至前條ノ規定ハ左ニ掲グルモノニハ之ヲ適用セズ

一、營利ヲ目的トシテ、契約ヲ爲スニ非
當事者但シ當該契約ヲ爲スコトガ、業務ニ非ザル場合
ニ限ル

二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令施行地トノ間ニ於ケル船舶ノ輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル水上運送ノ運送賃（遞信大臣ノ告示スルモノヲ除ク）

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル價格、運送賃及賃貸料

第十三條 遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ニ付公示ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 國家總動員法第三十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條ノ規定ニ因ル通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ第四條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル賃借又ハ委託ノ期間終了後之ヲ請求スベシ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ船舶ノ製造、修繕、使用、價格若ハ賃貸料又ハ水上ノ運送賃ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事業場、

事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス登票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用ス

第十七條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ遞信局長又ハ地方長官（東京府ニ於テハ水上ノ運送賃

第十八條 本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太總長官、南洋群島

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル價格、運送賃及賃貸料

第十三條 遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃貸料ニ付公示ヲ命ズルコトヲ得

第十四條 國家ハ職員法第二十七條ノ規定ニ基キ補償スベキ損失ハ第四條ノ規定ニ因ル通常生ズベキ損失トス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ第四條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル貸借又ハ委託ノ期間終了後之ヲ請求スベシ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第十五條 遞信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ船舶ノ製造、修繕、使用、價格若ハ賃貸料又ハ水上ノ運送賃ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事業場、

事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス登票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用ス

ニ在リテハ知事及警視總監ニ委任スルコトヲ得

第十八條 本令中遞信大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島

ニ在リテハ長官トシ遞信局長又ハ地方長官
ニ在リテハ遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リテハ交通局長又ハ
州知事若ハ廳長トス

朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第二條、第四
條乃至第六條、第八條又ハ第九條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サント

第十九條 本令ハ其ノ重要ナルヲ議スベシ
附則 本令ハ總噸數二十噸未滿ノ漁船ノ賣買價格及貸貸セズ

本令ハ公布ノ日、
及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス
但シ朝鮮、臺灣、樺太

理由

時局ノ進展ト歐洲ニ於ケル新情勢ノ勃發ニ伴ヒ海運ニ對スル需要
ヲ充足スル爲船舶ノ製造、修繕、貸借及使用ニ付統制ヲ行ヒ又船
價、水上運賃及傭船料ノ規制ヲ爲スノ要アルニ依ル

内閣

ニ在リテハ南洋總長官トシ遞信局長又ハ地方長官トアルハ朝鮮
ニ在リテ遞信局長又ハ道知事、臺灣ニ在リ交通局長又ハ
州知事トス

朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋總長官第二條、第四
條乃至第六條、第八條又ハ第九條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サント

モノニ付豫メ遞信大臣ニ議スベシ
第十九條 本令ハ總噸數二十噸未満ノ漁船ノ賣買價格及賃貸セズ
附則

本令ハ公布ノ日、
及南洋群島ニ在リテハ昭和十五年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス
但シ朝鮮、臺灣、樺太

理 由

時局ノ進展ト歐洲ニ於ケル新情勢ノ勃發ニ伴ヒ海運ニ對スル需要
ヲ充足スル爲船舶ノ製造、修繕、賃借及使用ニ付統制ヲ行ヒ又船
價、水上運賃及傭船料ノ規制ヲ爲スノ要アルニ依ル

參照

●國家總動員法 昭和十三年四月（國務各大） 法律第五十五號（臣副署）

第六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ハ解雇又ハ賃金其ノ他ノ勞働條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第八條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員物資ノ生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、使用、消費、所持及移動ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸出若ハ輸入ノ制限若ハ禁止ヲ爲シ、輸出若ハ輸入ヲ命ジ、輸出税若ハ輸入税ヲ課シ又ハ輸出税若ハ輸入税ヲ増課若ハ減免スルコトヲ得

第十條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所

ニ依リ總動員物資ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第十一條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ會社ノ設立、資本ノ増加、合併、目的變更、社債ノ募集若ハ第二回以後ノ株金ノ拂込ニ付制限若ハ禁止ヲ爲シ、會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ銀行、信託會社、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ指定スル者ニ對シ資金ノ運用ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十三條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル事業ニ屬スル工場、事業場、船舶其ノ他ノ施設又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル施設ノ全部又ハ一部ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

政府ハ前項ニ掲グルモノヲ使用又ハ收用スル場合ニ於テ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ從業者ヲ供用セシメ又ハ當該施設ニ於テ現ニ實施スル特許發明若ハ登録實用新案ヲ實施スルコトヲ得

政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務ニ必要ナル土地又ハ家屋其ノ他ノ工作物ヲ管理、使用又ハ收用スルコトヲ得

第十四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ鑛業權、砂鑛權及水ノ使用ニ關スル權利ヲ使用又ハ收用スルコトヲ得

第十六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ制限若ハ禁止シ又ハ總動員業務タル事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ命ズルコトヲ得

第十七條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ總動員業務タル同種若ハ異種ノ事業ノ事業主間ニ於ケル當該事業ニ關スル統制協定ノ設定、變更若ハ廢止ニ付認可ヲ受ケシメ、統制協定ノ設定、變更若ハ取消ヲ命ジ又ハ統制協定ノ加盟者若

ハ其ノ統制協定ニ加盟セザル事業主ニ對シ其ノ統制協定ニ依ルベキ
コトヲ命令ズルコトヲ得

第十九條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ム
ル所ニ依リ價格、運送賃、保管料、保險料、賃貨料又ハ加工賃ニ關
シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第八條、第十條、第十三條
若ハ第十四條ノ規定ニ依ル處分、第九條ノ規定ニ依ル輸出若ハ輸入
ノ命令、第十一條ノ規定ニ依ル資金ノ融通若ハ有價證券ノ應募、引
受若ハ買入ノ命令又ハ第十六條ノ規定ニ依ル設備ノ新設、擴張若ハ
改良ノ命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依
リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況
若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

參照

朕價格等統制令ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十四年十月十六日

內閣總理大臣 阿部 信行
遞信大臣 永井柳太郎
鐵道大臣 畑 俊六
陸軍大臣 青木 一男
大藏大臣 吉田 善吾
海軍大臣 小原 直
厚生大臣 伍堂 卓雄
商工大臣 金光 庸夫
拓務大臣 廣田 弘毅
農林大臣 伯耆 酒井 忠正

勅令第七百三號

價格等統制令

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第
三百十七號)於南洋群島ニ於テ依ル場
合ヲ含ム以下同ジ)第十九條ノ規定ニ基
キ價格、運送賃、保管料、損害保險料、賃貨
料又ハ加工賃(以下價格等ト稱ス)ニ關シ
必要ナル命令ヲ爲スハ別ニ定ムルモノヲ
除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 價格等ハ昭和十四年九月十八日
(以下指定期日ト稱ス)ニ於ケル額ヲ超エ
テ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコト
ヲ得ズ但シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等
ノ支拂者又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許
可ヲ受ケタル場合及本令施行ノ際現ニ存
スル契約ニシテ其ノ際左ノ各號ノ一ニ該
當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
一 注文生産品ノ價格ニ付生産者ガ生産
ニ著手シタルモノ
二 其ノ他ノ價格ニ付買主其ノ他ノ支拂
者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
三 運送賃又ハ加工賃ニ付運送人又ハ加
工者ガ目的物ノ引渡ヲ受ケタルモノ
四 保管料、損害保險料又ハ賃貨料ニ付
支拂者ガ履行遲滞ニ在ルモノ
前項ノ指定期日ニ於ケル額ハ價格等ノ受
領者ニ付テノ額ニ依リ受領者別ニ定マル
モノトシ指定期日ニ爲シタル契約アル場
合ハ其ノ契約額同ジ事情ノ下ニ於テ數
種ノ契約額アリタルトキハ其ノ最高額、
偶々指定期日ニ爲シタル契約ナカリシ場
合ハ契約額ヲ爲シタルベキ額トス
價格等ニ付前項ノ規定ニ依ル額ナキ場合
ニ於テハ閣令ノ定ムルモノヲ以テ指定期
日ニ於ケル額トス

第三條 商工業業者等ノ組合其ノ他之ニ準
ズルモノ閣令ノ定ムル所ニ依リ前條第二
項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額ヲ定メ行
政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ組合
其ノ他之ニ準ズルモノ及其ノ構成員(構
成員ガ組合其ノ他之ニ準ズルモノナル場
合ハ其ノ構成員ヲモ含ム、第二項ノ場合
亦同ジ)ニ付テハ其ノ額ヲ以テ指定期日
ニ於ケル額ト看做ス
行政官廳必要アリト認ムルトキハ閣令ノ
定ムル所ニ依リ商工業業者等ノ組合其ノ
他之ニ準ズルモノノ地區内ニ於テ其ノ構
成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成
員ニ非ザルモノニ付テモ前項ノ規定ニ依
ル額ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス
コトヲ得
前項ノ規定ニ依ル處分アリタル場合ニ於
テ第一項ノ規定ニ依ル額ノ變更アリタル
トキハ前項ノ額ハ當該變更額ニ變更セラ
レタルモノトス
第一項ノ規定ニ依ル認可又ハ第二項ノ規
定ニ依ル處分ハ此等ノ處分實施ノ際現ニ
存スル契約ニシテ其ノ際前條第一項但書
各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ影響
ヲ及ボスコトナシ
第四條 行政官廳ハ指定期日ニ於ケル額
(前條第一項若ハ第二項又ハ第二十條ノ
規定ニ依リ看做サルモノヲ除ク)ガ
著シク不當ト認メタルトキハ閣令ノ定
ムル所ニ依リ其ノ額ヲ引下グルコトヲ得
但シ其ノ引下實施ノ際現ニ存スル契約ニ
シテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ一ニ
該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボスコ
トナシ

第五條 前三條ノ規定ハ有價證券ノ價格及
賃貨料、土地及建物ノ價格其ノ他閣令ヲ
以テ定ムル價格等ニ付テハ之ヲ適用セズ
第六條 價格等ハ第二條乃至第四條ノ規定
ニ拘ラズ他ノ法令ニ定ムル額又ハ他ノ法
令ニ基キ行政官廳ノ決定、命令、許可、認
可其ノ他ノ處分アリタル額ヲ超エテ之ヲ
契約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ
但シ本令施行後ノ處分ハ處分實施ノ際現
ニ存スル契約ニシテ其ノ際第二條第一項
但書各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ
影響ヲ及ボスコトナシ
前項ノ他ノ法令ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム
第七條 前條ノ規定スル場合ヲ除クノ外行
政官廳閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等(有
價證券ノ價格及賃貨料ヲ除ク以下同ジ)
ノ額ヲ指定シタルトキハ第二條乃至第四
條ノ規定ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契
約シ、支拂ヒ又ハ受領スルコトヲ得ズ但
シ閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ支拂者
又ハ受領者ニ於テ行政官廳ノ許可ヲ受ケ
タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ指定ハ指定期日ニ於テ現ニ存スル契
約ニシテ其ノ際第二條第一項但書各號ノ
一ニ該當スルモノニ對シテハ影響ヲ及ボ
スコトナシ
第八條 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約
條件ノ變更(第六條ノ規定スル他ノ法令
ニ依ルモノ及他ノ法令ニ基キ行政官廳ノ
決定、命令、許可、認可其ノ他ノ處分アリ

タルモノヲ除クニシテ支拂者ニ不利ニ
ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ價格等
ノ額ノ引上ト看做ス
第九條 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第
二條第六條又ハ第七條ノ規定ニ依ル禁
止ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ
第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ
閣令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ原價ニ關
シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得
第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキ
ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ
生産、販賣、運送、保管、賃貸、損害保險若
ハ加工ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲ
シテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所其
ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿
書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ
得
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢
査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス
證明ヲ携帯セシムベシ
第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格等ニハ之
ヲ適用セズ
一 取引所又ハ日本米穀株式會社若ハ朝
鮮米穀株式會社ノ開設スル米穀市
場ニ於ケル賣買取引ノ價格
二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令
施行地トノ間ニ於ケル輸出入取引ノ價
格及兩地域間ニ於ケル運送ノ運賃
三 其ノ他閣令ヲ以テ定ムルモノ
第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營利
ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザルモ
ノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲ス
コトガ自己ノ業務ニ屬スル者ニ付テハ此
ノ限ニ在ラズ

第十四條 本令ニ定ムルモノヲ除クノ外本
令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以
テ之ヲ定ムルコトヲ得
第十五條 本令ノ施行ニ關スル主務大臣ハ
左ノ各號ニ定ムル所ニ依ル
一 農林水産物ノ生産者及其ノ組織スル
法人ノ販賣スル場合ノ農林水産物ノ價
格並ニ農林水産業專用物品ノ價格ニ關
スル事項ニ付テハ農林大臣
二 酒造税法ノ酒類並ニ酒精及酒精含有
飲料税法ノ酒精及酒精含有飲料ノ價格
ニ關スル事項ニ付テハ農工大臣及大藏
大臣
三 醫藥品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ
農工大臣及厚生大臣
四 運送貨物ニ運送ニ直接關聯スル保管
料及賃賃料ニ關スル事項ニ付テハ陸上
運送ニ在リテハ鐵道大臣、水上運送及
航空運送ニ在リテハ逓信大臣
五 田、畑、山林及原野ノ價格及賃賃料、
家畜ノ賃賃料、農林水産物ノ保管ヲ目
的トスル倉庫、倉庫營業者及商工業者
ノ組織スル法人ノ倉庫倉庫除クノ
保管料並ニ閣令ヲ以テ定ムル農林水産
物及農林水産業專用物品ノ加工賃ニ關
スル事項ニ付テハ農林大臣
六 船舶ノ價格及賃賃料ニ關スル事項ニ
付テハ逓信大臣但シ總噸數二十噸未満
ノ漁船ノ賃賃料及賃賃料ニ關スル事
項ニ付テハ農林大臣及逓信大臣
七 兵器、彈藥、艦船等ニシテ軍機保護上
必要ナルモノニ關スル第二條ニ規定ス
ル事項ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣
八 前各號ノ場合ヲ除クノ外農工大臣

九 第六條ニ規定スル法令ニ於テ規定ス
ル價格等ニ關スル事項ニ付テハ前各號
ニ拘ラズ當該法令ニ於ケル主務大臣
第十六條 前條第七號ニ掲グル場合ヲ除ク
ノ外本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リ
テハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、
樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ
在リテハ南洋廳長官トシ閣令トアルハ朝
鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又
ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス
附則
第十七條 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨ
リ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋
群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日
ヨリ之ヲ施行ス
第十八條 第二條乃至第四條ノ規定ハ昭和
十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ
同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル規則ノ
適用ニ付テハ同日以後ト雖モ仍其ノ效力ヲ
有ス
第十九條 左ニ掲グル命令ハ之ヲ廢止ス
昭和十四年農林省令第四十二號農林水
産物及農林水産業用品販賣價格取締規
則
昭和十三年農工省令第二十四號綿絲販
賣價格取締規則
昭和十三年農工省令第三十一號ステ
ールファイバー及ステールファイ
バー絲販賣價格取締規則
昭和十三年農工省令第五十六號物品販
賣價格取締規則
昭和十三年農工省令第六十三號人造絹
絲販賣價格取締規則

昭和十三年農工省令第七十五號毛絲販
賣價格取締規則
昭和十四年農工省令第六十三號綿絲
販賣價格取締規則
昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號
朝鮮物品販賣價格取締規則
昭和十三年臺灣總督府令第四百十四號物
品販賣價格取締規則
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販
賣價格取締規則
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群
島物品販賣價格取締規則
左ニ掲グル規定ハ之ヲ削除ス
昭和十三年農工省令第四十五號皮革配
給統制規則第九條及第十條
昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號
(昭和十二年法律第九十二號第二條ノ
規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件)
第八條及第九條
昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮
革配給統制規則第五條及第六條
昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配
給統制規則第六條及第七條
前二項ニ掲グル命令及規定ハ本令施行前
ニ爲シタル行爲ニ關スル規則ノ適用ニ付
テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス
第二十條 左ニ掲グル規定ニ依ル農林大
臣、農工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳
長官又ハ南洋廳長官ノ指定シタル日ニ於
ケル販賣價格ハ之ヲ第二條ノ指定期日ニ
於ケル額ト看做ス
昭和十四年農林省令第四十二號農林水
産物及農林水産業用品販賣價格取締規
則第一條

昭和十三年農工省令第五十六號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號
朝鮮物品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年臺灣總督府令第四百十四號物
品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群
島物品販賣價格取締規則第一條
第二十一條 左ニ掲グル規定ニ依リ農林大
臣、農工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳
長官、南洋廳長官、地方長官、朝鮮總督府
道知事、臺灣總督府府知事若ハ廳長又ハ
南洋廳支廳長ノ爲シタル販賣價格指定又
ハ許可ハ第二條第一項但書又ハ第七條第
一項ノ規定ニ依リ各相當ノ行政官廳ノ爲
シタル價格ノ額ノ指定又ハ許可ト看做ス
但シ閣令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ
得
昭和十四年農林省令第四十二號農林水
産物及農林水産業用品販賣價格取締規
則第一條
昭和十三年農工省令第二十四號綿絲販
賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年農工省令第三十一號ステ
ールファイバー及ステールファイバ
ー絲販賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年農工省令第四十五號皮革配

昭和十三年農工省令第七十五號毛絲販
賣價格取締規則第一條第二項
昭和十四年農工省令第六十三號綿絲
販賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號
朝鮮物品販賣價格取締規則第一條
昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號
(昭和十二年法律第九十二號第二條ノ
規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル
件)第八條
昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮
革配給統制規則第五條
昭和十三年臺灣總督府令第四百十四號物
品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配
給統制規則第六條
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群
島物品販賣價格取締規則第一條

此ヲ免ルル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ
第十條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ
開令ノ定ムル所ニ依リ價格等ノ原價ニ關
シ計算ヲ爲サシムルコトヲ得
第十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキ
ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ
生産、販賣、運送、保管、貨物、損害保險若
ハ加工ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官廳更
シテ工場、事業場、販賣所、倉庫、事務所其
ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿
書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ
得
前項ノ規定ニ依リ當該官廳更シテ臨檢檢
査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス
證券ヲ携帯セシムベシ
第十二條 本令ハ左ニ掲グル價格等ニハ之
ヲ適用セズ
一 取引所又ハ日本米穀株式會社若ハ朝
鮮米穀株式會社ノ開設スル米穀市
場ニ於ケル賣買取引ノ價格
二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本令
施行地トノ間ニ於ケル輸出入取引ノ價
格及兩地域間ニ於ケル運送ノ運賃
三 其ノ他開令ヲ以テ定ムルモノ
第十三條 本令ハ契約ノ當事者ニシテ營利
ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザルモ
ノニハ之ヲ適用セズ但シ當該契約ヲ爲ス
コトガ自己ノ業務ニ屬スル者ニ付テハ此
ノ限ニ在ラズ

- 一 農林水産物ノ生産者及其ノ組織スル
法人ノ販賣スル場合ノ農林水産物ノ價
格並ニ農林水産業專用物品ノ價格ニ關
スル事項ニ付テハ農林大臣
二 酒造稅法ノ酒類並ニ酒精及酒精含有
飲料稅法ノ酒精及酒精含有飲料ノ價格
ニ關スル事項ニ付テハ農工大臣及大藏
大臣
三 醫藥品ノ價格ニ關スル事項ニ付テハ
農工大臣及厚生大臣
四 運送貨物ニ運送ニ直接關聯スル保管
料及貨物料ニ關スル事項ニ付テハ陸上
運送ニ在リテハ鐵道大臣、水上運送及
航空運送ニ在リテハ逓信大臣
五 田、畑、山林及原野ノ價格及貨物料、
家畜ノ賃賃料、農林水産物ノ保管ヲ目
的トスル倉庫（倉庫營業者及商工業者
ノ組織スル法人ノ營ム倉庫ヲ除ク）ノ
保管料並ニ開令ヲ以テ定ムル農林水産
物及農林水産業專用物品ノ加工賃ニ關
スル事項ニ付テハ農林大臣
六 船舶ノ價格及貨物料ニ關スル事項ニ
付テハ逓信大臣但シ總噸數二十噸未満
ノ漁船ノ賣買取引價格及貨物料ニ關スル事
項ニ付テハ農林大臣及逓信大臣
七 兵器、彈藥、砲藥等ニシテ軍機保護上
必要アルモノニ關スル第二條ニ規定ス
ル事項ニ付テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣
八 前各號ノ場合ヲ除ク外農工大臣

外令中ニ於テハ日本米穀株式會社若ハ朝
鮮米穀株式會社ニ在リテハ臺灣總督、
樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ
在リテハ南洋廳長官トシ開令トアルハ朝
鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又
ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス
附則
第十七條 本令ハ昭和十四年十月二十日ヨ
リ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋
群島ニ在リテハ昭和十四年十月二十七日
ヨリ之ヲ施行ス
第十八條 第二條乃至第四條ノ規定ハ昭和
十五年十月十九日迄其ノ效力ヲ有ス但シ
同日以前ニ爲シタル行爲ニ關スル開令ノ
適用ニ付テハ同日以後ト雖モ仍其ノ效力ヲ
有ス
第十九條 左ニ掲グル命令ハ之ヲ廢止ス
昭和十四年農林省令第四十二號農林水
産物及農林水産業用品販賣價格取締規
則
昭和十三年商工省令第二十四號絲綢販
賣價格取締規則
昭和十三年商工省令第三十一號ステ
ールファイバー及ステールブルファイ
バー絲販賣價格取締規則
昭和十三年商工省令第五十六號物品販
賣價格取締規則
昭和十三年商工省令第六十三號人造絹
絲販賣價格取締規則

朝鮮物品販賣價格取締規則
昭和十三年臺灣總督府令第四百十四號物
品販賣價格取締規則
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販
賣價格取締規則
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群
島物品販賣價格取締規則
左ニ掲グル規定ハ之ヲ創除ス
昭和十三年商工省令第四十五號皮革配
給統制規則第九條及第十條
昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號
（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ
規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル件）
第八條及第九條
昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮
革配給統制規則第五條及第六條
昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配
給統制規則第六條及第七條
前二項ニ掲グル命令及規定ハ本令施行前
ニ爲シタル行爲ニ關スル開令ノ適用ニ付
テハ本令施行後ト雖モ仍其ノ效力ヲ有ス
第二十條 左ニ掲グル規定ニ依ル農林大
臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳
長官又ハ南洋廳長官ノ指定シタル日ニ於
ケル販賣價格ハ之ヲ第二條ノ指定期日ニ
於ケル額ト看做ス
昭和十四年農林省令第四十二號農林水
産物及農林水産業用品販賣價格取締規
則第一條

昭和十三年商工省令第五十六號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號
朝鮮物品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年臺灣總督府令第四百十四號物
品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群
島物品販賣價格取締規則第一條
第二十一條 左ニ掲グル規定ニ依リ農林大
臣、商工大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳
長官、南洋廳長官、地方長官、朝鮮總督府
道知事、臺灣總督府府知事若ハ廳長又ハ
南洋廳支廳長ノ爲シタル販賣價格指定又
ハ許可ハ第二條第一項但書又ハ第七條第
一項ノ規定ニ依リ各相當ノ行政官廳ノ爲
シタル價格ノ額ノ指定又ハ許可ト看做ス
但シ開令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ
得
昭和十四年農林省令第四十二號農林水
産物及農林水産業用品販賣價格取締規
則第一條
昭和十三年商工省令第二十四號絲綢販
賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年商工省令第三十一號ステ
ールファイバー及ステールブルファイバ
ー絲販賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年商工省令第四十五號皮革配
給統制規則第九條
昭和十三年商工省令第五十六號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十三年商工省令第六十三號人造絹
絲販賣價格取締規則第一條第二項

昭和十三年商工省令第七十五號毛絲販
賣價格取締規則第一條第二項
昭和十四年商工省令第六十三號絹紡絲
販賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年朝鮮總督府令第二百十八號
朝鮮物品販賣價格取締規則第一條
昭和十四年朝鮮總督府令第三十一號
（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ
規定ニ依ル皮革ノ配給統制ニ關スル
件）第八條
昭和十三年臺灣總督府令第八十四號皮
革配給統制規則第五條
昭和十三年臺灣總督府令第四百十四號物
品販賣價格取締規則第一條
昭和十三年樺太廳令第六十三號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十四年樺太廳令第三十六號皮革配
給統制規則第六條
昭和十三年南洋廳令第三十八號南洋群
島物品販賣價格取締規則第一條

昭和十四年農林省令第四十二號農林水
産物及農林水産業用品販賣價格取締規
則第一條
昭和十三年商工省令第二十四號絲綢販
賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年商工省令第三十一號ステ
ールファイバー及ステールブルファイバ
ー絲販賣價格取締規則第一條第二項
昭和十三年商工省令第四十五號皮革配
給統制規則第九條
昭和十三年商工省令第五十六號物品販
賣價格取締規則第一條
昭和十三年商工省令第六十三號人造絹
絲販賣價格取締規則第一條第二項

參照

工場事業場管理令

昭和十三年五月
勅令第三百十八號

(國務各大
臣副署)

第六條 主務大臣ハ其ノ管理ニ係ル工場事業場ニ於ケル總動員物資ノ生産
又ハ修理ニ關シ當該工場事業場ノ業務ニ付事業主ヲ指揮監督ス

第十回國家總動員審議會ニ於ケル海運統制令ニ關スル
質疑應答要旨

問 昭和十六年度ニ於テ充實セラレル船腹ノ見込數量ハ大体七百萬噸ト考ヘテヨイカ。最近御用船徴發船舶ガ減少シテ近海又ハ沿岸ニ就航シツツアルヤ大体ノ傾向ヲ伺ヒ度シ

答 物動計畫ニ依ル昭和十六年ニ於ケル船舶ノ充實狀況ハオ説ノ如ク御諒解ナツテ可イ船舶ノ就航ニ付テハ漸次其ノ傾向ニ向ヒツツアル。

問 輸送問題上ノ運賃ト云フ點デハ沿岸又ハ近海ニ於ケル公定運賃ガ重要トナルノデハナイカ。

答 國民生活ニ即スル運賃政策ヲ嚮テ行カウト思フ。外國ニ對シテハ成ル可ク高率ヲ運賃ニ依リ外貨獲得ニ努メル。

問 事變發生ト共ニ近海運賃ノ適正ヲ期シテキル。
最近國際收支上ノ運賃收入殊ニ外國航路間ノモノ及外國諸港間ノ

答 日本船、配置状況如何

昭和十一年度、收入ハ約三億九千万圓、日支事變開始ト共ニ、圓ブロック貿易ノ收入ハ増加シタガ實質的ナ外貨運賃收入ハ約一億圓程度ニ減少シタ、其ノ中外國諸港間、分ハ昭和十一年約五千万圓今日デハ多少減少シテキル。又外國諸港間、日本船ノ配置ニ付テハ成可ク増加セシメル方針デアル。

問 造船價格ノ趨勢ヲ承リ度シ

新造船ノ價格ハ重要資材タル鋼鐵ノ價格騰貴ニ依リ高騰ノ傾向ニ在ルモ外國ノソレニ比スレバ高クナイ。因ニ内地ノ鐵價噸當ニ二〇圓、米國ノソレハ三一〇圓デアル。其ノ他造船所デ外註スル部分品ノ價格ノ値上リガ船價ニ影響ヲ及ボスコト大デアル。

大型船ノ價格（噸當リ）

昭和十一年 一八〇圓—二九〇圓

昭和十二年 三一四圓—三五〇圓

十三年 三五〇圓—四五〇圓

十四年 三五〇圓—四五〇圓

問 造船資材ノ昂騰ガ造船計畫ニ支障ヲ與ヘテキル。

造船資材ノ獲得状況如何、外貨運賃收入ヲ以テ資材購入ニ充テル考ヘハナイカ

答 同感デアル。運賃單位ノ上昇部分ニ付資材購入トリンクセシメ度

イ、造船能力ハ資材配給ノ圓滑ニ依リ高メ得ル。

問 遞信豫算ニ付テ見ルト四千トン級ノ中型船舶ニ付施設ヲシテキル

ガ之ハ如何ナル方面ニ使用セラレルノカ又海運統制デハ小船舶ノ統制ガ重要ト思フガ此ノ方針如何

答 業者ノ中デ統制方法ヲ定メテ之ヲ海運統制委員會デ決メル方法ニシテキル。近海方面ノ輸送ヲ充實スル方針デ之ニ依リ必需品輸送ニ遺憾ナキヲ期シテキル。

問 樺太炭田ノ増産上必要アルトキ強制配船ヲスル場合ニハ臨時
船舶管理法ニ依ルカ本令ニ依ルカ
答 積極的命令ハ臨時船舶管理法ニ依ル
問 運賃備船料ヲ公定スル基準ハ逓信省ガ獨自ノ構成要素乃至商習慣
ヲ考慮シテ決定スルノカ、業者ノ協議會等ニ依リ決定スルノカ
答 要綱第八ニ依リ業者團體ノ決定シタモノト政府ノ決定スルモノト
ノ兩建ニシテキル
問 實質ハ海運統制協議會ノ決定ヲ基礎ニスル。
ソレデハ自治統制ト何等變ラナイデハナイカ、海運統制協議會ノ
決議ヲ無視スル場合モ考ヘルコトニ依リ勅令案發動ノ必要ヲ認メ
ラレルコトニナルト思フ
答 運用スル場合ハ前述ノ通りデアルガ其ノ決定ガ政府ノ考ト矛盾ス
ル場合ニハ強力ヲ以テヤル。
問 船舶ノ管理、使用收用ノ條項ハ將來發動スル豫定ナリヤ、國家總

動員法第十三條第一項ノ發動ヲ以テ海運統制ノ最高段階ト考ヘラ
レルカ
答 國家總動員法第十三條ハ國家ガ船舶ヲ管理、使用收用スル規定デ
アル、内外ノ情勢ノ推移ニ依リ發動トナルコトガアルカト思フ。
一部ノ船舶ヲ管理使用收用スルコトハアルガ全部ノモノニ付テ管
理、使用收用スルコトハナイ、船舶ノ全部ニ亘ル場合ニハ海運統
制ノ最高段階トナルト思フ。
問 本勅令案要綱ハ帝國議會再開迄ニ發布ノ見込ナリヤ必ズ再開迄ニ
發布スル様希望スル
答 再開迄ニ發布スル様努力スル
問 船腹ノ逼迫ハ外國備船ノ減少ト陸海軍ヘノ徵發ニ依ル場合ガ多イ
ト思フガ、今以テ徵發船舶ガ港ニ碇泊シテ用ヲ爲サナイ場合ガア
ル。専門家ヲ徵用シテコレガ配船ヲウマクスルヤウニ努力セラレ
ヨ

答 作戰上、必要ニ基クモノデ無意味ニ碇泊シタモノハナイ、専門家
徴用ノ點ハ用兵作戰上何トモ云ヘナイ。

寫

昭和十四年十二月十六日

參照

内閣總理大臣	阿部	信行
遞信大臣	永井	柳太郎
拓務大臣	金光	庸夫

國家總動員審議會總裁 阿部 信行 殿

別紙諮問第三十號海運ノ統制ニ關スル勅令案要綱ニ對シ貴會ノ意見ヲ
諮フ

諮問第三十號

海運ノ統制ニ關スル勅令案要綱

第一 船舶ノ製造ヲ爲サントスル者及船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者ハ當該船舶ノ製造ニ付遞信大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第二 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ得ルコト

第三 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ運航業者ニ對シ船舶ノ貸借又ハ船舶ノ運航ノ委託ヲ命ジ得ルコト

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ實料、委託料具ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベキコト協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベキコト

第四 外國船舶ヲ借受ケ又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスル者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第五 遞信大臣ハ一般のニ船舶、航路若ハ區域ヲ指定シテ航海ヲ禁止

シ若ハ制限シ又ハ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限シ得ルコト

第六 遞信大臣ハ船舶何役ノ圖ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷役請負業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品ノ船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ艱位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ジ得ルコト

第七 遞信大臣船舶ノ價格、水上ノ運送費又ハ船舶ノ賃賃料ノ額ヲ指定シタルトキハ價格無統制令第二條乃至第四條ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領シ得ザルコト但シ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

前項ノ指定ハ指定實施ノ際製造中ノ造船契約ニ付テハ影響ヲ及ボスコトナキコト

第八 遞信大臣ノ指定スル運航業者、船舶所有者又ハ造船業者ノ團體ガ船舶ノ價格等ノ額ヲ定メ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其

ノ構成員ニ付テハ其ノ額ヲ以テ第七ニ依リ指定セラレタル額ト看做スコト

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ團體ノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ヲ非ザルモノニ付テモ前項ノ額ヲ以テ第七ニ依リ指定セラレタル額ト看做シ得ルコト

第一項ノ認可又ハ前項ノ處分ハ此等ノ處分實施ノ際製造中ノ造船契約等ニ付テハ影響ヲ及ボスコトナキコト

第九 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更ニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ船舶ノ價格、水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃賃料ノ額ノ引上ト看做スコト

第十 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第七ノ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲シ得ザルコト

第十一 第七乃至第十八左ニ掲グルモノニハ之ヲ適用セザルコト

一 契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザル

モノ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ關スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラザルコト

二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本要綱實施地トノ間ニ於ケル船舶ノ輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル水上運送ノ運送賃（遞信大臣ノ告示スルモノヲ除ク）

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ

第十二 遞信大臣ハ水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃賃料ニ付公示ヲ命ジ得ルコト

第十三 補償スベキ損失ハ第三ノ處分ニ因ル通常生ズベキ損失トスルコト

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ第三ニ依リ命ザラレタル賃借又ハ委託ノ期間終了後之ヲ請求スベキコト但シ命令ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求シ得ルコト

第十四 遞信大臣ハ船舶ノ製造、修繕、賃借、使用、價格若ハ賃賃料

又ハ水上ノ運送賃ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事業場、事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシメ得ルコト

第十五 本要綱中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用スルコト

第十六 本制度ハ前各號ニ準ジ外地ニモ之ヲ實施スルコト

寫
參
照

議案第一七號ノ二

昭和十四年十二月二十二日

國家總動員事務局總長 岡部 信行

内閣總理大臣 岡部 信行

逓信大臣 永井 柳太郎

拓務大臣 金光 武藏

前項第三十號議案ノ続編ニ關スル勅令案要綱ニ付議決手續ヲ遂ゲ提案
ノ趣旨適當ナルモノナリト議決被授
右審申候也

内閣

詔問第三十號

海運ノ統制ニ關スル勅令案要綱

第一 船舶ノ製造ヲ爲サントスル者及船舶ノ製造ノ注文ヲ爲サントスル者ハ當該船舶ノ製造ニ付遞信大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第二 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ船舶ノ修繕範圍ノ制限又ハ修繕期間ノ短縮ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ得ルコト

第三 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ運航業者ニ對シ船舶ノ貸借又ハ船舶ノ運航ノ委託ヲ命ジ得ルコト

前項ノ命令アリタル場合ニ於テハ員賃料、委託料其ノ他ノ事項ニ關シ當事者間ニ於テ協議スベキコト勸諭調ハズ又ハ勸諭ヲ爲スコト能ハザルトキハ遞信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベキコト

第四 外國船舶ヲ借受ケ又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスル者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クベキコト

第五 遞信大臣ハ一般的ニ船舶、航路若ハ區域ヲ指定シテ航海ヲ禁止

シ若ハ制限シ又ハ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ禁止シ若ハ制限シ得ルコト

第六 遞信大臣ハ船舶何役ノ圖ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ運送取扱業者、荷役請負業者、荷送人又ハ荷受人ニ對シ運送品ノ船積又ハ陸揚ニ關シ其ノ方法又ハ船位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ指示得ルコト

第七 遞信大臣船舶ノ價格、水上ノ運送費又ハ船舶ノ買貨料ノ額ヲ指定シタルトキハ價格經統制令第二條乃至第四條ニ拘ラズ其ノ額ヲ超エテ之ヲ契約シ、支拂ヒ又ハ受領シ得ザルコト但シ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

前項ノ指定ハ指定實施ノ際製造中ノ造船契約等ニ付テハ影響ヲ及ボスコトナキコト

第八 遞信大臣ノ指定スル運航業者、船舶所有者又ハ造船業者ノ團體ガ船舶ノ價格等ノ額ヲ定メ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其

ノ構成員ニ付テハ其ノ額ヲ以テ第七ニ依リ指定セラレタル額ト看做スコト

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ團體ノ地區内ニ於テ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ニシテ其ノ構成員ヲ非ザルモノニ付テモ前項ノ額ヲ以テ第七ニ依リ指定セラレタル額ト看做シ得ルコト

第一項ノ認可又ハ前項ノ處分ハ此等ノ處分實施ノ際製造中ノ造船契約等ニ付テハ影響ヲ及ボスコトナキコト

第九 支拂條件、引渡條件其ノ他ノ契約條件ノ變更ニシテ支拂者ニ不利益ト爲ルモノハ其ノ限度ニ於テ之ヲ船舶ノ價格、水上ノ運送費又ハ船舶ノ買貨料ノ額ノ引上ト看做スコト

第十 何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ第七ノ禁止ヲ免ルル行爲ヲ爲シ得ザルコト

第十一 第七乃至第十八左ニ掲グルモノニハ之ヲ適用セザルコト
一 契約ノ當事者ニシテ營利ヲ目的トシテ當該契約ヲ爲スニ非ザル

モノ但シ當該契約ヲ爲スコトガ自己ノ業務ニ關スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラザルコト

二 關東州、滿洲及支那以外ノ地ト本要綱實施地トノ間ニ於ケル船舶ノ輸出入取引ノ價格及兩地域間ニ於ケル水上運送ノ運送賃（遞信大臣ノ告示スルモノヲ除ク）

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ

第十二 遞信大臣ハ水上ノ運送賃又ハ船舶ノ賃賃料ニ付公示ヲ命ジ得ルコト

第十三 補償スベキ損失ハ第三ノ處分ニ因ル通常生ズベキ損失トスルコト

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ第三ニ依リ命ザラレタル賃借又ハ委託ノ期間終了後之ヲ請求スベキコト但シ命令ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求シ得ルコト

第十四 遞信大臣ハ船舶ノ製造、修繕、賃借、使用、價格若ハ賃賃料

又ハ水上ノ運送賃ニ關シ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事業場、事務所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシメ得ルコト

第十五 本要綱中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用スルコト

第十六 本制度ハ前各號ニ準ジ外地ニモ之ヲ實施スルコト